

## この1年を振り返って

四階西病棟看護科長 高橋みさ子

平成15年は次の年間目標に添って活動しました。

1. 患者様が安全安楽に療養生活が送れるように努める。
  - 安全・安楽な環境を提供する事が出来る。
2. 患者様に質のよい看護を提供する。
  - よりよい看護を提供する為に業務改善を図る。
  - 看護記録を見直し改善する。
  - 院内接遇目標を中心として取り組む事が出来る。
  - 固定チームナーシングに向けて準備し取り組む事が出来る。
3. 看護研究の取り組み知識技術を研鑽する。
  - 患者様に還元する事を目指す。

### 固定チームナーシングについて

平成15年は16年導入となる固定チームナーシングの土台作りの年となりました。当病棟は2チーム制として、主として急性期患者・看護度の高い患者のチームと慢性期または検査入院の患者チームとしました。週1回のカンファレンスで患者様の情報を共有し看護計画の充実を図りました。今後の課題としては受け持ち看護師のかかわり方について明確にし、チームとしてどのように援助していくのか、チームの患者層の違いから業務内容にも違いがあり共同業務についてどのように協力していくか等の点を検討していきたいと思えます。

### 業務改善について

循環器呼吸器疾患の患者様は安静度・清潔面での制限がある為に清潔面についてのケアに午前中の大部分が費やされています。準備・後片付けの時間の短縮をはかるために清拭車の使用を開始しました。又各チームでは日々の清潔ケアを見直し改善を図りました。

又、固定チームでは他チームの患者様の情報が把握しづらい面があり制限項目を記載したベットサイドにカードを作成し情報の共有を図りました。

### 看護記録・看護研究について

看護記録については記録委員を中心に小チームを編成してフォーカスチャータリングに取り組みました。今後も通信教育・勉強会を継続していきたいと考えています。

看護研究のテーマも看護記録の充実に取り組む事となり、アンケートから記録に対する意識調査を施行しました。看護計画と記録の連動については課題として残されており今後期待したいと思っています。

平成15年の延べ入院患者数は18205人、死亡退院は86名、1ヶ月平均63、25人の入院がありました。高齢化社会の中ますます看護度の高い患者様が多くなると考えられますがスタッフ協力して看護の向上を図りたいと思えます。